第 2 学年

Unit 1	Hajin's Diary	教科書ページ	pp. 8-17
		配当時間	9 時間
		学習時期	4 月
題材	日常生活		
単元目標 【重点化領域】	◎日記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2）】 ◎出来事や感想などを日記に書くことができる。【書くこと（W-1）】		
基本文	Part1　I **went** to Busan. I visit**ed** my grandparents. How **was** your trip to Korea? They **were** really interested in Japan. Part2　**When** I have free time, I study Japanese. Part3　They **looked** happy. It **sounds** exciting.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域 L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉動詞の過去形、接続詞 when、「look[sound]＋形容詞」の文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉動詞の過去形、接続詞 when、「look[sound]＋形容詞」などについての理解をもとに、日記の内容を読み取ったり、日記を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	日記を書くときの参考にするために、登場人物の日記を読んで、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	身近な出来事や気づきを書き留めて、情報を整理して、日記を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	日記を書くときの参考にするために、登場人物の日記を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	身近な出来事や気づきを書き留めて、情報を整理して、日記を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp. 8-9)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 10)	• I **went** to Busan. • I visit**ed** my grandparents. • How **was** your trip to Korea? • They **were** really interested in Japan.	**本文の内容を捉え、文脈の中で一般動詞／be 動詞の過去形の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、一般動詞／be 動詞の過去形の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、一般動詞／be 動詞の過去形の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 11)		**目的や場面に沿って一般動詞／be 動詞の過去形を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、春休みにしたことを聞き取る。 • ペアになり、春休みにしたこととその感想をたずね合う。 • 自分が春休みにしたことと、その感想を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が春休みにしたことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、一般動詞／be 動詞の過去形などを用いて、春休みにしたこととその感想について話している／書いているかを見取る。	**★話す／書く活動の際、春休みにしたことの詳しい情報を付け足すよう促すなど、Goal の「出来事や感想などを日記に書く」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 12)	• **When** I have free time, I study Japanese. ／ I study Japanese **when** I have free time.	**本文の内容を捉え、文脈の中で接続詞 when の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、接続詞 when の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、接続詞 when について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
5	Part 2 活動 (p. 13)		**目的や場面に沿って接続詞 when を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、時間のあるときや落ち込んだときの過ごし方を聞き取る。 • ペアになり、時間があるときや落ち込んだときに何をするかをたずね合う。 • 自分が時間があるときや落ち込んだときにすることを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の時間のあるときや落ち込んだときにすることを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、接続詞 when などを用いて、時間があるときや落ち込んだときにすることについて話している／書いているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
6	Part 3 本文 (p. 14)	• They **looked** happy. • It **sounds** exciting.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「look[sound]＋形容詞」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「look[sound]＋形容詞」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「look[sound]＋形容詞」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、Q を参考に書かれている内容を予想させたり、書き手の気持ちに注目させたりするなど、Goal の「日記を読んで、おおまかな内容を捉える」活動につながる指導を行う。**
7	Part 3 活動 (p. 15)		**目的や場面に沿って「look[sound]＋形容詞」を使う練習をする。** • 登場人物の会話を聞き、Ms. Thusi が誰に話しかけたかを捉える。 • ペアになり、pp. 8-9 の絵の中の人物がどのような様子に見えるかを伝え合う。 • pp. 8-9 の絵の中の人物がどのような様子に見えるかを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、Ms. Thusi が話しかけた人物の様子を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「look[sound]＋形容詞」などを用いて、pp.8-9 の絵の中の人物がどのような様子に見えるかについて話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (pp. 16-17)		**日記を読んで、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • Kota と Tina の日記を読み、それぞれの日記の内容に最も当てはまるテーマを選ぶ。 • 2 人が共通して日記に書いたことを捉える。 • Q&A などを通して、日記の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 17)		**出来事や感想などを日記に書く。** • 好きなテーマを選んで日記を書き、書いた内容を見直す。 • 書き直した日記を読み合い、感想を伝えたり質問したりする。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「選んだテーマに沿った出来事が書けているか」、「出来事の詳しい様子やそのときの気持ちが書けているか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 1	**電話**	教科書ページ	p. 18
		配当時間	1 時間
		学習時期	5 月
題材	待ち合わせ		
単元目標 【重点化領域】	◎電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。【話すこと（SI-2)】		
基本文	• **This is** Jack. • **Can you** be there at one o'clock**?**		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉Can you ～? を使った依頼のしかたや電話特有の表現などの意味や働きを理解している。	○		◎		
	〈技能〉Can you ～? を使った依頼のしかたや電話特有の表現などの意味や働きの理解をもとに、電話で何かを頼んだり応じたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	友達と出かける約束をするために、伝えたい情報を整理して、電話で用件を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	友達と出かける約束をするために、伝えたい情報を整理して、電話で用件を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 18	• **This is** Jack. • **Why don't you** come with me**?** • **Can you** be there at one o'clock**?**	**電話で、何かを頼んだり応じたりする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 18 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • Can you ～?を使った依頼のしかたや電話特有の表現の意味や働き、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における３つの観点で評価する。**	

Unit 2	**Basketball Tournament**	教科書ページ	pp. 19-27
		配当時間	9 時間
		学習時期	5 月
題材	球技大会		
単元目標 【重点化領域】	◎友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと（L-1）】 ◎企画への希望や意見を、その場で伝え合うことができる。【話すこと（SI-1）】		
基本文	Part1　I don't like **playing** basketball. I'm not good at **passing** the ball. **Passing** the ball isn't easy. Part2　Hajin wants **to shoot**. The important thing is **to pass** the ball to Hajin. Part3　**I think (that)** you did a great job. **I'm sure (that)** you like playing basketball now.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞 that の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	◎	○	○
	〈技能〉動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞 that などを用いて、学級レクリエーションについて、会話の内容を聞き取ったり、希望や意見を伝え合ったりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	学級レクリエーションの企画の参考にするために、登場人物の話から、企画に必要な情報を聞き取っている。	◎				
	したいことや大切だと思うことが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	学級レクリエーションの企画の参考にするために、登場人物の話から、企画に必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	したいことや大切だと思うことが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 19)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 20)	• I don't like **playing** basketball. • I'm not good at **passing** the ball. • **Passing** the ball isn't easy.	**本文の内容を捉え、文脈の中で動名詞の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、動名詞の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、動名詞の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 21)		**目的や場面に沿って動名詞を使う練習をする。** • 街頭インタビューから、小学生の趣味を聞き取る。 • ペアになり、好きなことや得意なことをたずね合う。 • 友達の好きなことや得意なことについて書く。	○Listen の質問への回答の様子から、小学生の趣味を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、動名詞などを用いて、好きなことや得意なことについて話している／書いているかを見取る。	**★話す／書く活動の際、相手の話を聞いたらその感想を伝えるよう促すなど、やり取りを円滑にするためのコツを意識するよう指導を行い、Goal の「企画への希望や意見を、その場で伝え合う」活動につなげる。**
4	Part 2 本文 (p. 22)	• Hajin wants **to shoot**. • The important thing is **to pass** the ball to Hajin.	**本文の内容を捉え、文脈の中で不定詞〈名詞的用法〉の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、不定詞〈名詞的用法〉の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、不定詞〈名詞的用法〉について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの必要な情報（Tina は試合に勝つために何が大切だと言っているか）を確かめるために読むよう促すなど、Goal の「友達の話から、企画に必要な情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 23)		**目的や場面に沿って不定詞〈名詞的用法〉を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、この夏にしたいことや今後の目標を聞き取る。 • ペアになり、この夏にしたいことや目標を伝え合う。 • 自分と友達のこの夏にしたいことや目標を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がこの夏にしたいことや今後の目標を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、不定詞〈名詞的用法〉などを用いて、この夏にしたいことや目標について話している／書いているかを見取る。	**★話す／書く活動の際、したいことだけでなく、そのために大切だと思っていることや理由を伝えたりたずねたりするよう促すなど、Goal の「企画への希望や意見を、その場で伝え合う」活動につながる指導を行う。**
6	Part 3 本文 (p. 24)	• **I think (that)** you did a great job. • **I'm sure (that)** you like playing basketball now.	**本文の内容を捉え、文脈の中で接続詞 that の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、接続詞 that の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、接続詞 that について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 25)		**目的や場面に沿って接続詞 that を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、Kota と Tina が提案する日本語の学び方や、それに対する Hajin の考えを聞き取る。 • ペアになり、提示された 4 つの英語の学び方についてどう思うかを伝え合う。 • 提示された 4 つの英語の学び方についてどう思うかを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、Kota と Tina が提案する日本語の学び方や、それに対する Hajin の考えを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、接続詞 that などを用いて、提示された 4 つの英語の学び方についてどう思うかについて話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 26)		**登場人物の話から、企画に必要な情報を聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 登場人物の会話から、それぞれがしたいことや大切だと思うことを聞き取る。 • Q&A などを通して、会話の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 27)		**企画への希望や意見を、その場で伝え合う。** • ペアになり、友達が学級レクリエーションでしたいことや大切だと思うことなどについてきく。 • 伝え方やきき方を見直し、もう一度考えを伝え合う。 • 学習状況に応じて、Extra の友達から聞いた話をもとに、自分が考えたレクリエーション案を発表する活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「たずねるときに、友達の話を詳しく聞き出す質問ができているか」、「答えるときに、考えを詳しく説明する一言を足すことができているか」の観点で、やり取りの内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 2	ラジオのニュース	教科書 ページ	p. 28
		配当時間	1 時間
		学習時期	5 月
題材	けん玉の大会		
単元目標 【重点化領域】	◎ニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。【聞くこと（L-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉接続詞 when、動名詞や不定詞の名詞的用法、How long ～? などの意味や働きを理解している。	◎				
	〈技能〉接続詞 when、動名詞や不定詞の名詞的用法、How long ～? などの意味や働きの理解をもとに、けん玉の大会の話題と優勝者のインタビューを紹介したラジオニュースの内容を聞き取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	どのようなことが話題に取り上げられているかを知るために、ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えている。	◎				
主体的に学習に取り組む態度	どのようなことが話題に取り上げられているかを知るために、ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	◎				

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 28		**ニュースを聞いて、おおまかな内容を捉える。** • 単元の目標と、活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 1. の音声を聞いて、ニュースで取り上げられている出来事のおおまかな内容を捉える。 • 2. の音声を聞き、インタビューの内容と合う英文を選ぶ。 • 学習状況に応じて、Extra の自分の言葉でニュースの内容を説明する活動に取り組む。 • リスニングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、おおまかな内容を捉える聞き方などを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 144（［英語をよりよく使うための TIPS］内の『おおまかな内容を捉える聞き方』）を意識して粘り強く聞くよう促す。**

Active Grammar 1	動名詞／不定詞〈名詞的用法〉	教科書ページ	p. 29
		配当時間	1 時間
		学習時期	6 月
題材	「〜すること」の言い方		
単元目標	動名詞や、不定詞の名詞的用法の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉動名詞や、不定詞の名詞的用法の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉動名詞や、不定詞の名詞的用法を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 29	• 動名詞 • 不定詞〈名詞的用法〉 【復習】	**動名詞や不定詞〈名詞的用法〉の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 2 のストーリーをもとに、動名詞と不定詞〈名詞的用法〉を使った文の共通点や違いを考え、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • 動名詞と不定詞〈名詞的用法〉が目的語・主語・補語になる文の形を整理する。また、目的語が動名詞だけを取る動詞や不定詞だけを取る動詞などがあることを確かめる。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 動名詞と不定詞〈名詞的用法〉を使う練習をする。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの文の中での動名詞と不定詞〈名詞的用法〉の役割を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で動名詞や不定詞〈名詞的用法〉の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Unit 3	Plans for the Summer	教科書ページ	pp. 31-39
		配当時間	9 時間
		学習時期	6 月
題材	夏休みの予定		
単元目標 【重点化領域】	◎メールの用件や、返事が必要なことを読み取ることができる。【読むこと（R-1)】 ◎用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる。【書くこと（W-2)】		
基本文	Part1　I**'m going to** visit my cousins in Okinawa. **Are** you **going to** visit your cousins**?** — Yes, I **am**. / No, I**'m not**. Part2　It **will** be hot next week. **Will** it be hot next week**?** — Yes, it **will**. / No, it **won't**. Part3　**If** you're tired, we can go straight home.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉be going to，助動詞 will，接続詞 if の文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉be going to，助動詞 will，接続詞 if などについての理解をもとに、旅行の予定などについて書かれたメールの内容を読み取ったり、予定や希望をメールに書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	届いたメールの返事を書くために、旅行の予定などについて書かれたメールから、用件や返事が必要な情報を読み取っている。		◎			
	ホームステイ先の相手に用件や気持ちが伝わるように、届いたメールの内容をふまえて予定や希望などの伝えるべきことを整理し、簡単な語句や文を用いてメールの返事を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	届いたメールの返事を書くために、旅行の予定などについて書かれたメールから、用件や返事が必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			
	ホームステイ先の相手に用件や気持ちが伝わるように、届いたメールの内容をふまえて予定や希望などの伝えるべきことを整理し、簡単な語句や文を用いてメールの返事を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	**◎記録に残す評価**　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 31)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 32)	• I**'m going to** visit my cousins in Okinawa. • **Are** you **going to** visit your cousins**?** — Yes, I **am**. / No, I**'m not**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「be going to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「be going to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「be going to＋動詞の原形」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 33)		**目的や場面に沿って「be going to＋動詞の原形」を使う練習をする。** • 登場人物の電話でのやり取りから、電話の用件や予定などを聞き取る。 • ペアになり、夏休みの予定を伝え合う。 • 自分の夏休みの予定を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、電話の用件や登場人物の予定を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「be going to＋動詞の原形」などを用いて、夏休みの予定を話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、わからないところがあってもよいので、まずは用件（話の概要）を捉えることを意識して聞くよう促すなど、「必要な情報」を捉えるためにも概要把握が大切であることを指導する。** **★書く活動の際、「どこで」「誰と」などの具体的な情報を書いたり、気持ちを表す言葉を帯教材「Active Words」の p. 136（気持ちや状態欄）から探すなどして付け加えたりするよう促すなど、Goal の「用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書く」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
4	Part 2 本文 (p. 34)	• It **will** be hot next week. • **Will** it be hot next week? — Yes, it **will**. / No, it **won't**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で助動詞 will の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、助動詞 will の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、助動詞 will について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、Q に答えさせる前に「David は何を知りたがっているかな」と質問を表す文に注目するよう促すなど、Goal の「メールの用件や、返事が必要なことを読み取る」活動につながる指導を行う。**
5	Part 2 活動 (p. 35)		**目的や場面に沿って助動詞 will を使う練習をする。** • 天気予報を聞いて、各都市のこれからの天気に関する情報を聞き取る。 • ペアになり、週末の天気としようと思うことを伝え合う。 • 週末の天気と自分がしようと思うことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、各都市の天気を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、助動詞 will などを用いて、週末の天気としようと思うことを話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 36)	• **If** you're tired, we can go straight home.／ We can go straight home **if** you're tired.	**本文の内容を捉え、文脈の中で接続詞 if の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、接続詞 if の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、接続詞 if について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 37)		**目的や場面に沿って接続詞 if を使う練習をする。** • 観光案内所での会話を聞いて、条件に応じたおすすめの場所の情報を聞き取る。 • ペアになり、条件に応じて、しようと思うことを伝え合う。 • 条件に応じて、自分や友達がしようと思うことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、条件に応じたおすすめの場所を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、接続詞 if などを用いて、条件に応じてしようと思うことを話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 38)		**メールの用件や、返事が必要なことを読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • David からのメールを読み、用件や返事が必要な情報を読み取る。 • Q&A などを通して、メールの詳細や語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★必要な情報を読み取ることができていない生徒には、紙面上の TIP に注目したり、第 4 時（Part 2 の本文）で学んだ読み方を思い出したりするよう指導する。**
9	Goal (p. 39)		**用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書く。** • 届いたメールの内容をふまえて、David に宛ててメールの返事を書く。 • 伝える内容や書き方を見直し、書き直したメールを友達と読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「用件が伝わるメールになるように、伝えたいことを整理できているか」、「メールを受け取った David に、楽しみな気持ちが伝わるか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 3	アナウンス	教科書ページ	p. 40
		配当時間	1 時間
		学習時期	6 月
題材	空港／機内アナウンス		
単元目標 【重点化領域】	◎アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと（L-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉数字や時刻・時間、天気、気温の言い方、助動詞 will などの意味や働きを理解している。	◎				
	〈技能〉数字や時刻・時間、天気、気温の言い方、助動詞 will などの意味や働きの理解をもとに、空港や機内のアナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	日本行きの飛行機に搭乗できるように、便の変更を知らせる空港アナウンスから、必要な情報を聞き取っている。	◎				
主体的に学習に取り組む態度	日本行きの飛行機に搭乗できるように、便の変更を知らせる空港アナウンスから、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 40		**アナウンスから、必要な情報を聞き取る。** • 単元の目標と、活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 1. の空港のアナウンスの音声から搭乗に関する変更事項を聞き取り、チケットに変更事項を書き込む。 • 2.、3. の機内アナウンスの音声から時刻や天気、気温などの情報を聞き取り、記入したり表から選択したりする。 • リスニングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、必要な情報の聞き取り方などを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	

Active Grammar 2	be going to／will	教科書ページ	p. 41
		配当時間	1 時間
		学習時期	6 月
題材	未来のことを伝える言い方		
単元目標	be going to や助動詞 will の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉be going to や助動詞 will の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉be going to や will を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 41	• be going to • 助動詞 will 【復習】	**be going to や助動詞 will の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 3 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • be going to と助動詞 will を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。また、be going to と will の機能の違いを確かめる。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • be going to や助動詞 will を使う練習をする。 • Write（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、be going to や助動詞 will の役割を理解することができているかを見取る。 ○Write（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で be going to や助動詞 will の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Let's Read 1	**The Cookies**	教科書ページ	pp. 42-44
		配当時間	3 時間
		学習時期	7 月
題材	クッキーを巡る 2 人の男女の物語		
単元目標 【重点化領域】	◎物語を読んで、あらすじを捉えることができる。【読むこと（R-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉出来事の順序や時を表す語句、人物の動作や気持ちを表す語句、接続詞 when などの意味や働きを理解している。	○	◎			
	〈技能〉出来事の順序や時を表す語句、人物の動作や気持ちを表す語句、接続詞 when などの意味や働きの理解をもとに、クッキーを巡る 2 人の男女の物語の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	読むことの楽しみを味わうために、クッキーを巡る 2 人の男女の物語を読み、あらすじを捉えている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	読むことの楽しみを味わうために、クッキーを巡る 2 人の男女の物語を読み、あらすじを捉えようとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 42-44		**タイトルや挿絵から、物語の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • タイトルや挿絵から、本文の内容を予想する（Before You Read)。 **物語を通して聞いたり読んだりして、おおまかな内容を捉える。** • 物語全体を通して聞き、物語の場面をイメージする。 • 物語全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。	○Before You Read への回答の様子から、物語の展開をどのように予想しているかを見取る。 ○生徒の発話などから、その物語のおおまかな内容を捉えているかを見取る。	
2	pp. 42-43		**物語の初めから女性が席を立つ場面までの、出来事の詳細を読み取る。** • 初めから p. 43 の 11 行目までの本文について、T or F や Q&A などを通して、出来事の詳細を確かめる。 • 初めから p. 43 の 11 行目までの本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、物語のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
3	pp. 43-44		**女性が飛行機に乗った場面から物語の最後までの、出来事の詳細を読み取る。** • p. 43 の 12 行目から最後までの本文について、T or F や Q&A などを通して、出来事の詳細を確かめ、物語の結末について感想を伝え合う。 • p. 43 の 12 行目から最後までの本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **出来事の経過を整理しながら物語のあらすじを確かめ、登場人物の心情を考える。** • 話の展開に合うように挿絵の順番を並べ替えたり、各場面での登場人物の心情とその理由を読み取ったりして、物語のあらすじを確かめる（After You Read)。 • 学習状況に応じて、Extra の登場人物の気持ちや物語の情景が伝わるように、音読する活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎After You Read への回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★TIP（p. 44）も参考にしながら、物語の読み方を確認する。**

Daily Life 4	レストラン	教科書ページ	p. 45
		配当時間	1 時間
		学習時期	7 月
題材	シンガポールでの朝食		
単元目標 【重点化領域】	◎飲食店で注文をすることができる。【話すこと（SI-2)】		
基本文	• **Shall I** take your order**?** • **Would you like** a drink**?**		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉Shall I ～? や Would you ～? など注文のやり取りに特有の表現の意味や働きを理解している。	○		◎		
	〈技能〉Shall I ～? や Would you ～? など注文のやり取りに特有の表現の意味や働きの理解をもとに、飲食店での注文のやり取りをする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	シンガポールのレストランで朝食を食べるために、メニューをもとに注文のやり取りをしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	シンガポールのレストランで朝食を食べるために、メニューをもとに注文のやり取りをしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 45	• **Shall I** take your order**?** • **Would you like** a drink**?**	**飲食店で注文をする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 45 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • Shall I ～? や Would you like ～? など注文のやり取りに特有の表現の意味や働き、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。**	

You Can Do It! 1	「わが町観光プラン」をおすすめしよう	教科書ページ	pp. 46-47
		配当時間	2 時間
		学習時期	7 月
題材	観光プラン		
単元目標 【重点化領域】	◎相手に合うプランを提案することができる。 【読むこと（R-1）】【書くこと（W-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。		◎			◎
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、交換留学生の自己紹介文の内容を読み取ったり、観光プランを書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	2 人の交換留学生にぴったりの観光プランを考えるために、2 人の興味・関心について書かれた自己紹介文から、必要な情報を読み取っている。		◎			
	2 人の交換留学生に町の魅力を知ってもらうために、2 人の興味・関心をふまえて見どころやかかる時間等の情報を整理して、観光プランを書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	2 人の交換留学生にぴったりの観光プランを考えるために、2 人の興味・関心について書かれた自己紹介文から、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			
	2 人の交換留学生に町の魅力を知ってもらうために、2 人の興味・関心をふまえて見どころやかかる時間等の情報を整理して、観光プランを書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 46		**交換留学生の自己紹介文から、必要な情報を読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 2 人の自己紹介文中の、それぞれの興味・関心がわかる部分に線を引く。 • もう一度読み、2 人の共通点を見つける。 • 自己紹介文の詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
2	p. 47		**2 人の自己紹介文の内容をふまえて、観光プランを書く。** • 2 人の自己紹介文をあらためて読み、前時に読み取った内容を中心に、観光プランの作成に必要な情報を確かめる。 • 示された 3 つの条件に合う、2 人が楽しむことができる観光プランを考える。 • 考えた観光プランを英語で書く。 • 学習状況に応じて、Extra の作成したプランをグループで読み合い、いちばんよいと思うものを選び、選んだプランを理由といっしょに発表する活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Writing モデル」を参照したり、Look Back にある既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

World Tour 1	**English Around the World**	教科書 ページ	p. 48
		配当時間	（1 時間）
		学習時期	7 月
題材	世界のいろいろな英語		
単元目標	インタビュー動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	○				
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、インタビュー動画の内容を聞き取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	シンガポールにいる人について知るために、それぞれの人が出身国やシンガポールの好きなところについて話すインタビュー動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合っている。					
主体的に学習に取り組む態度	シンガポールにいる人について知るために、それぞれの人が出身国やシンガポールの好きなところについて話すインタビュー動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合おうとしている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 48		**さまざまな（国の）人へのインタビュー動画から、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • インタビューの動画を見て、それぞれの人の出身国とシンガポールの好きなところをメモを取りながら聞き取る。 • 全体で答えやインタビュー文の詳細な内容を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 • ペアになり、それぞれの人が話す英語について気がついたことを伝え合う。 • インタビューの返答から、世界で使われている英語は多様であることを確かめる。 • 学習状況に応じて、Extra のシンガポールの英語にはどんな特徴があるかを調べる活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○ワークシート等から、それぞれの人の出身国とシンガポールの好きなところについておおまかな内容を捉えているかを見取る。	

Unit 4	**Tour in Singapore**	教科書ページ	pp. 49-57
		配当時間	9 時間
		学習時期	9 月
題材	シンガポール旅行		
単元目標 【重点化領域】	◎グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと（R-1）】 ◎町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明することができる。 【話すこと（SP-2）】		
基本文	Part1 **There is** a big garden near there. **Is there** a big garden near there**?** — Yes, **there is**. / No, **there isn't**. **There are** several Merlions. Part2 **Show** me your guidebook. I'll **give** you a message. Part3 You need something **to cover** your shoulders.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉There is ～.、「S+V+O+O」、不定詞の形容詞的用法の文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	◎	○
	〈技能〉There is ～.、「S+V+O+O」、不定詞の形容詞的用法などについての理解をもとに、シンガポール・グルメの紹介サイトの内容を読み取ったり、町の名物について説明したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	Tina と David の希望に合う昼食をとる場所を探すために、シンガポール・グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取っている。		◎			
	町の名物の魅力が他の国や地域の人に伝わるように、伝えたい情報を整理して、自分が紹介したい名物について詳しく説明している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	Tina と David の希望に合う昼食をとる場所を探すために、シンガポール・グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			
	町の名物の魅力が他の国や地域の人に伝わるように、伝えたい情報を整理して、自分が紹介したい名物について詳しく説明しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 49)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 50)	• **There is** a big garden near there. • **Is there** a big garden near there**?** — Yes, **there is.** / No, **there isn't**. • **There are** several Merlions.	**本文の内容を捉え、文脈の中で There is ～. の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、There is ～.の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、There is ～. について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 51)		**目的や場面に沿って There is ～. を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、登場人物が明日行きたい場所とその理由を聞き取る。 • ペアになり、次の休みに行きたい場所とそこにあるものを伝え合う。 • 自分が次の休みに行きたい場所とそこにあるものを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が明日行きたい場所とその理由を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、There is ～. などを用いて、次の休みに行きたい場所とそこにあるものについて話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 52)	• **Show** me your guidebook. • I'll **give** you a message.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「S＋V＋O＋O」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「S＋V＋O＋O」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「S＋V＋O＋O」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、Q の答えを探しながら読んでみるよう促すなど、Goal の「グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取る」活動につながる指導を行う。**
5	Part 2 活動 (p. 53)		**目的や場面に沿って「S＋V＋O＋O」を使う練習をする。** • 登場人物のお土産屋での会話から、登場人物が誰に何を買うのかを聞き取る。 • ペアになり、自分なら誰にどんなお土産を買いたいかを伝え合う。 • 自分が誰にどんなお土産を買いたいかを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が誰に何を買うのかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「S＋V＋O＋O」などを用いて、自分なら誰にどんなお土産を買いたいかを話している／書いているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
6	Part 3 本文 (p. 54)	• You need something **to cover** your shoulders.	**本文の内容を捉え、文脈の中で不定詞〈形容詞的用法〉の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、不定詞〈形容詞的用法〉の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、不定詞〈形容詞的用法〉について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 55)		**目的や場面に沿って不定詞〈形容詞的用法〉を使う練習をする。** • シンガポール市内の 3 か所での登場人物の会話を聞いて、話題を捉える。 • ペアになり、自分の町のどんな場所や名物を紹介するかについて、意見を伝え合う。 • 自分の町の好きな場所や名物など紹介したいことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、シンガポール市内の 3 か所での登場人物の会話で話題になったものを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、不定詞〈形容詞的用法〉などを用いて、町のどんな場所や名物を紹介するかについて話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、まず何を紹介するかをおおまかに言って、詳しい説明を足していくとよいことなど、Goal の「町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明する」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (p. 56-57)		**グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • シンガポール・グルメの紹介記事を読み、Tina と David のどちらの希望にも合う一皿を選ぶ。 • Q&A などを通して、記事の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★必要な情報を読み取ることができていない生徒には、紙面上の TIP に注目したり、第 4 時（Part 2 の本文）で学んだ読み方を思い出したりするよう指導する。**
9	Goal (p. 57)		**町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明する。** • Tina に話すつもりで、自分の町のおすすめの一皿を友達に説明する。 • 伝える内容や説明の仕方を見直し、他の友達にもう一度説明する。 • 学習状況に応じて、Extra のシンガポールに行ったら食べてみたいものを、友達と伝え合う活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「どんな一皿なのか、それを知らない人にも伝わるか」、「食べたいと思ってもらえるような説明ができているか」の観点で、発表の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Active Grammar 3	目的語	教科書ページ	p. 58
		配当時間	1 時間
		学習時期	9 月
題材	動詞の後ろにくる言葉		
単元目標	目的語の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉「S+V+O」、「S+V+O+O」の文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉「S+V+O」、「S+V+O+O」を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 58	• S＋V＋O • S＋V＋O＋O 【復習】	**「S＋V＋O」「S＋V＋O＋O」の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • 「S＋V＋C」と「S＋V＋O」の文を比べ、動詞の後にくる語の主語との関係の違いに気づく。 • 「S＋V＋C」と「S＋V＋O」の文の形を整理する。また、目的語には、名詞や代名詞の他に、動名詞や不定詞がくる場合もあることを確かめる。 • Unit4 のストーリーを読んで、目的語を取る動詞を○で囲み、その目的語を□で囲む活動を行う。 • 「S＋V＋O＋O」を使う練習をする。 • Write（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子などから、それぞれの目的語が表すものや文の意味などを理解することができているかを見取る。 ○Write（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で目的語の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Unit 5	**How Do We Stay Safe?**	教科書ページ	pp. 59-67
		配当時間	9 時間
		学習時期	10 月
題材	防災		
単元目標 【重点化領域】	◎災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと（L-1）】 ◎必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合うことができる。【話すこと（SI-2）】		
基本文	Part1　You **must** check the location of the evacuation shelters. You **must not** forget to include information about shelters. Part2　We **have to** protect ourselves. You **don't have to** evacuate. Part3　**It's** important **to prepare** well for emergencies.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉助動詞 must、「have to＋動詞の原形」、不定詞に代わる It の文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	◎	○	○
	〈技能〉助動詞 must、「have to＋動詞の原形」、不定詞に代わる It などについての理解をもとに、災害時に必要なものについて、説明の内容を聞き取ったり、意見を伝えたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	「中学生用 防災バッグ」に入れるものを話し合うときの参考にするために、災害時に役立つものについての説明から、必要な情報を聞き取っている。	◎				
	「中学生用 防災バッグ」の見本を作るために、必要なものとその理由など伝えたい情報を整理して、バッグに入れるべきだと思うものについての意見を伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	「中学生用 防災バッグ」に入れるものを話し合うときの参考にするために、災害時に役立つものについての説明から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	「中学生用 防災バッグ」の見本を作るために、必要なものとその理由など伝えたい情報を整理して、バッグに入れるべきだと思うものについての意見を伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 59)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 60)	• You **must** check the location of the evacuation shelters. • You **must not** forget to include information about shelters.	**本文の内容を捉え、文脈の中で助動詞 must の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、助動詞 must の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、助動詞 must について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 61)		**目的や場面に沿って助動詞 must を使う練習をする。** • ラジオ放送から、それぞれの自然災害の発生時に、しなければならないこと／してはならないことを聞き取る。 • グループになり、自然災害が起こったときの対応を伝え合う。 • 自然災害のときにしなければならないこと／してはならないことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、それぞれの自然災害の発生時に、しなければならないこと／してはならないことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、助動詞 must などを用いて、自然災害のときにしなければならないこと／してはならないことについて話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 62)	• We **have to** protect ourselves. • You **don't have to** evacuate.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「have to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「have to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「have to＋動詞の原形」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、Q の答えに使われそうな語句を予想して、探しながら読んでみるよう促し、その方法は聞くときにも役に立つことを確かめるなど、Goal の「災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 63)		**目的や場面に沿って「have to＋動詞の原形」を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、それぞれの行動をする必要があるかないかを聞き取る。 • ペアになり、週末にする必要があることを伝え合う。 • 週末にする必要があることについて、友達と自分のことを比べて書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がする必要があること／する必要がないことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「have to+動詞の原形」などを用いて、週末にする必要があることについて話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 64)	• **It's** important **to prepare** well for emergencies.	**本文の内容を捉え、文脈の中で不定詞に代わる It の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、不定詞に代わる It の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、不定詞に代わる It について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 65)		**目的や場面に沿って不定詞に代わる It を使う練習をする。** • 防災セミナーでの発表を聞いて、それぞれの人物が大切だと思っていることを捉える。 • ペアになり、災害に備えて特に必要だと思ったことなどを伝え合う。 • 自然災害への備えについて、自分の考えを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、それぞれの人物が大切だと思っていることを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、不定詞に代わる It などを用いて、災害に備えて特に必要だと思ったことなどについて話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、大切なことを言うときに使われそうな語句を予想して、探しながら聞いてみるよう促すなど、Goal の「災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。** **★話す活動の際、必要だと思うことだけでなく、どんなときに役立つかを付け足して言うと説得力が増すことを確かめるなど、Goal の「必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合う」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (pp.66-67)		**災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 3 人の説明を聞き、それぞれが災害時に必要だと思っているものを選ぶ。 • Q&A などを通して、説明文の詳細や新出語句などを確かめる。 • 学習状況に応じて、Extra の音声をもう一度聞き、それぞれがどんなときに必要になるかをメモする活動に取り組む。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (pp. 66-67)		**必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合う。** • 必要だと思うものについての話し合いで伝えたい内容を、メモに整理する。 • グループになり、バックに入れるべきものについて意見を伝え合う。 • 学習状況に応じて、Extra の選んだものとそれが役立つ場面などを書いてまとめ、グループごとに発表する活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「入れるものの必要性が十分に伝わっているか」の観点で、やり取りの内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 5	電車の乗り換え	教科書ページ	p. 68
		配当時間	1 時間
		学習時期	10 月
題材	電車の乗り換え		
単元目標 【重点化領域】	◎電車の乗り換えについてたずねたり、案内をしたりすることができる。【話すこと（SI-2）】		
基本文	• **May I** ask you something**?** • **Could you tell me the way to** Sapporo Maruyama Zoo**?** • Do you know **how to** buy a subway ticket?		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉May I ～?、「how to＋動詞の原形」、Could you tell me the way to ～?など道案内特有の表現の意味や働きを理解している。	○		◎		
	〈技能〉May I ～?、「how to＋動詞の原形」、Could you tell me the way to ～?など道案内特有の表現の意味や働きの理解をもとに、電車の乗り換えについてたずねたり、案内をしたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	外国から来た旅行者が目的地にたどり着けるように、電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内したりしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	外国から来た旅行者が目的地にたどり着けるように、電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内したりしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 68	• **May I** ask you something**?** • **Could you tell me the way to** Sapporo Maruyama Zoo**?** • Do you know **how to** buy a subway ticket?	**電車の乗り換えについてたずねたり、案内をしたりする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 68 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • May I ～?、 Could you tell me the way to ～?、「how to＋動詞の原形」、など電車の乗り換え案内特有の表現の意味や働き、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。**	

Daily Life 6	**体調不良**	教科書 ページ	p. 69
		配当時間	1 時間
		学習時期	10 月
題材	体調不良		
単元目標 【重点化領域】	◎体調をたずねたり、助言をしたりすることができる。【話すこと（SI-2)】		
基本文	• I think you **should** take a rest.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉助動詞 should や、体調に関するやり取りに特有の表現や語句などの意味や働きを理解している。	○		◎		
	〈技能〉助動詞 should や、体調に関するやり取りに特有の表現や語句などの理解をもとに、体調をたずねたり、助言をしたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	体調が悪そうな友達を助けるために、体調をたずねたり、相手の返答に応じた助言をしたりしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	体調が悪そうな友達を助けるために、体調をたずねたり、相手の返答に応じた助言をしたりしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 69	• I think you **should** take a rest.	**体調をたずねたり、助言をしたりする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 69 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • 助動詞 should や、体調に関するやり取りに特有の表現や語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。**	

Active Grammar 4	助動詞	教科書ページ	p. 70
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	話し手の考えを動詞に加える言葉		
単元目標	助動詞の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉助動詞 can, will, may, shall, could, would, must, should の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉助動詞 can, will, may, shall, could, would, must, should を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 70	助動詞 can, will, may, shall, could, would, must, should 【復習】	**助動詞の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 5 までのストーリーをもとに、助動詞の使用場面や意味を確かめる。 • 8 つそれぞれの助動詞の働きと文の形、助動詞といっしょに使う動詞は原形になることなどを確かめる。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 助動詞を使う練習をする。 • Speak（About You）の活動を行う • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの助動詞が表す意味を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で助動詞の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Unit 6	Guide Dogs	教科書ページ	pp. 71-79
		配当時間	9 時間
		学習時期	11 月
題材	盲導犬、ボランティア活動		
単元目標 【重点化領域】	◎紹介記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2)】 ◎わかりやすい文章構成で、紹介記事を書くことができる。【書くこと（W-2)】		
基本文	Part1　She's here **to help** Fred. I study English **to travel** abroad. Part2　They also learn basic social rules **because** it's essential for guide dogs. Part3　I'm glad **to hear** that.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉目的を表す不定詞〈副詞的用法〉、接続詞 because、原因を表す不定詞〈副詞的用法〉の文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉目的を表す不定詞〈副詞的用法〉、接続詞 because、原因を表す不定詞〈副詞的用法〉などについての理解をもとに、ボランティア活動について、紹介記事の内容を読み取ったり、紹介記事を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	ボランティア活動についての紹介記事を書くときの参考にするために、Kota が書いた記事を読んで、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	学校新聞を読んだ人に「活動に参加したい」と思ってもらえるように、伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	ボランティア活動についての紹介記事を書くときの参考にするために、Kota が書いた記事を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	学校新聞を読んだ人に「活動に参加したい」と思ってもらえるように、伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 71)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 72)	• She's here **to help** Fred. • I study English **to travel** abroad.	**本文の内容を捉え、文脈の中で目的を表す不定詞〈副詞的用法〉の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、目的を表す不定詞〈副詞的用法〉の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、目的を表す不定詞〈副詞的用法〉について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 73)		**目的や場面に沿って目的を表す不定詞〈副詞的用法〉を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、日本語を勉強する目的を聞き取る。 • ペアになり、英語を勉強する目的をたずね合う。 • 自分と友達が英語を勉強する目的を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が日本語を勉強する目的を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、目的を表す不定詞〈副詞的用法〉などを用いて、英語を勉強する目的について話している／書いているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
4	Part 2 本文 (p. 74)	• They also learn basic social rules **because** it's essential for guide dogs. • **Because** it's essential for guide dogs, they also learn basic social rules.	**本文の内容を捉え、文脈の中で接続詞 because の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、接続詞 because の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、接続詞 because について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
5	Part 2 活動 (p. 75)		**目的や場面に沿って接続詞 because を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、興味のあるボランティア活動とその理由を聞き取る。 • ペアになり、やってみたいボランティア活動を、理由とともに伝え合う。 • 自分と友達がやってみたいボランティア活動を、理由とともに書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が興味のあるボランティア活動とその理由を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、接続詞 because などを用いて、やってみたいボランティア活動を、理由とともに話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、やってみたい活動を調べて詳しい情報を付け足してみるよう促すなど、Goal の「わかりやすい文章構成で、紹介記事を書く」活動に、言語面・内容面でつなげるようにする。**
6	Part 3 本文 (p. 76)	• I'm glad **to hear** that.	**本文の内容を捉え、文脈の中で、原因を表す不定詞〈副詞的用法〉の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、原因を表す不定詞〈副詞的用法〉の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、原因を表す不定詞〈副詞的用法〉について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、挿絵の Kota から出ている吹き出しの内容がどの文のことを表しているかを予想させるなど、文章と挿絵を対応させながら読む練習をさせることで、Goal の「紹介記事を読んで、おおまかな内容を捉える」活動につなげるようにする。**
7	Part 3 活動 (p. 77)		**目的や場面に沿って原因を表す不定詞〈副詞的用法〉を使う練習をする。** • 登場人物の会話を聞いて、会話の最後に入るせりふとしてふさわしい文を選ぶ。 • ペアになり、示されたせりふをどんな場面で使うかを考え、せりふを使ったやり取りを行う。 • やり取りした内容を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、会話の最後に入るせりふとしてふさわしい文を選んで話の展開を捉えているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、原因を表す不定詞〈副詞的用法＞などを用いて、示されたせりふをどんな場面で使うかを考え、そのせりふを使ったやり取りを行っている／書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 78)		**紹介記事を読んで、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • ボランティア活動についての紹介記事を読み、内容に合う挿絵を選ぶ。 • Q&A などを通して、記事の詳細や新出語句などを確かめる。 • 記事の文章構成を、表に整理する。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★おおまかな内容を捉えることができていない生徒には、紙面上の TIP に注目したり、第 6 時（Part 3 の本文）で学んだ読み方を思い出したりするよう指導する。**
9	Goal (p. 79)		**わかりやすい文章構成で、紹介記事を書く。** • ボランティア活動について調べたことをメモした後、伝えたい情報を整理する。 • 文章を書いて、構成や書き方などを見直す。 • 書き直した文章を友達と読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「伝えたい内容がわかりやすい文章構成になっているか」、「調べて知ったことと、自分の考えを区別して書いているか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Active Grammar 5	不定詞〈形容詞的用法・副詞的用法〉	教科書ページ	p. 80
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	to＋動詞の原形が表すいろいろな意味		
単元目標	不定詞の形容詞的用法・副詞的用法の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 80	• 不定詞〈形容詞的用法〉 • 目的を表す不定詞〈副詞的用法〉 • 原因を表す不定詞〈副詞的用法〉 【復習】	**不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit4、6 のストーリーをもとに、不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を使った文の意味の違いを考え、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • 不定詞の形容詞的用法を使った文、目的を表す不定詞の副詞的用法を使った文、原因を表す不定詞の副詞的用法を使った文の形を整理する。 • 文を作っていく活動などを通して、不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を使う練習をする。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの不定詞が表す意味や働きを理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中でそれぞれの不定詞の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Active Grammar 6	接続詞	教科書ページ	p. 81
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	文と文をつなぐ言葉		
単元目標	接続詞の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉接続詞 when, if, because, that の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉接続詞 when, if, because, that を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 81	接続詞 when, if, because, that 【復習】	**接続詞の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 5、6 のストーリーをもとに、接続詞 because と that を使った文を比べて違いを考え、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • 接続詞 when、if、 because を使った文と、接続詞 that を使った文の形を整理する。また、when、if、because がつなぐ文は文の先頭にもってくることもできることや、that で文をつなげる場合の that はよく省略されることがあることなどを確かめる。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • やり取りなどの活動を通して、接続詞を使う練習をする。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みなどから、それぞれの接続詞がどのように 2 つの文をつないでいるかを理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で接続詞の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Let's Read 2	**Meet Hanyu Yuzuru**	教科書ページ	pp. 82-85
		配当時間	4 時間
		学習時期	12 月
題材	羽生結弦さん		
単元目標 【重点化領域】	◎インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。【読むこと（R-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉不定詞、接続詞 when, because, that、助動詞 can [could], may などの意味や働きを理解している。	○	◎			
	〈技能〉不定詞、接続詞 when, because, that、助動詞 can [could], may などの意味や働きの理解をもとに、羽生結弦さんのインタビュー記事の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	羽生結弦さんの経歴や思いを知るために、インタビュー記事を読み、おおまかな内容を捉えている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	羽生結弦さんの経歴や思いを知るために、インタビュー記事を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 82-85		**羽生結弦さんについて知っていることをもとに、記事の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 羽生さんについて知っていることを話し合い、本文の内容を予想する（Before You Read）。 **インタビュー記事を通して聞いたり読んだりして、おおまかな内容を捉える。** • 記事全体を通して聞き、記事の概要をイメージする。 • 記事全体を通して読み、概要や構成を捉える。	○Before You Read への回答の様子から、インタビュー記事の内容をどのように予想しているかを見取る。 ○生徒の発話などから、インタビュー記事のおおまかな内容を捉えているかを見取る。	
2	pp. 82-83		**羽生さんを力づけた出来事を読み取る。** • Q1-A1 について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、羽生選手を力づけた出来事を読み取る。 • Q1-A1 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、インタビュー記事のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
3	pp. 83-84		**羽生さんが英語について感じていることや、プロ転向を決めた理由を読み取る。** • Q2-A2、Q3-A3 について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、羽生さんが英語について感じていること、プロ転向を決めた理由を読み取る。 • Q2-A2、Q3-A3 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、インタビュー記事のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
4	pp. 84-85		**羽生さんのメッセージを読み取る。** • Q4-A4 について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、羽生さんのメッセージを読み取る。 • Q4-A4 の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **記事の概要をまとめる。** • Q1 ～ Q4 に適するタイトルを選びながら記事の内容を視覚的に整理し、概要を確かめる（After You Read）。 • 学習状況に応じて、Extra のインタビューの感想を羽生さんに送るつもりで、手紙を書く活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎After You Read への回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	

You Can Do It! 2	**誰もが楽しめるイベントを提案しよう**	教科書ページ	pp. 86-87
		配当時間	2 時間
		学習時期	12 月
題材	町のイベント		
単元目標 【重点化領域】	◎自分の意見や考えを伝えることができる。【聞くこと（L-1)】【話すこと（SP-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	◎			◎	
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、町のイベントについての会話の内容を聞き取ったり、提案内容を発表したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	「誰一人取り残さないイベント」を提案するために、町の人へのインタビューから、必要な情報を聞き取っている。	◎				
	イベントの実行委員としての役割を果たすために、自分の意見や考えを整理して、「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をしている。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	「誰一人取り残さないイベント」を提案するために、町の人へのインタビューから、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	イベントの実行委員としての役割を果たすために、自分の意見や考えを整理して「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をしようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 86		**イベントに対する町の人の声から、必要な情報を聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 町の人の音声や動画から、それぞれが必要としていることを聞き取る。 • イベントに対する町の人の声の詳細を、語句や表現の確認、T or F または Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	
2	p. 87		**実行委員メンバーに、イベントのコンセプトを実現するための提案をする。** • 町の人の声をあらためて思い出して、イベントのコンセプトを実現するための提案内容について意見を出し合い、自分の考えを整理する。 • 「誰一人取り残さないイベント」のための提案内容を発表する。 • 学習状況に応じて、Extra の自分の学校を誰にとっても過ごしやすい場所にするための改善提案をする活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表)」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Speaking モデル」を参照したり、Look Back にある既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

Daily Life 7	**オンラインツアー**	教科書ページ	pp. 88-89
		配当時間	1 時間
		学習時期	12 月
題材	美術館のオンラインツアー		
単元目標【重点化領域】	◎オンラインツアーの案内から、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと（R-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、ツアーの開催案内や参加者のレビューの内容を読み取る技能を身につけている。		◎			
思考・判断・表現	友達といっしょに楽しむことができるツアーを見つけるために、オンラインツアーの案内や参加者のレビューから、必要な情報を読み取っている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	友達といっしょに楽しむことができるツアーを見つけるために、オンラインツアーの案内や参加者のレビューから、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 88-89		**オンラインツアーの案内から、必要な情報を読み取る。** • 単元の目標と、活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • オンラインツアーの案内や参加者のレビューを読み、おおまかな内容を捉える。 • 1. の友達の質問の答えになる情報を、オンラインツアーの案内から探す。 • 2. の友達の希望や条件をふまえて再度案内やレビューを読み、合うツアーを選ぶ。 • 学習状況に応じて、Extra の参加したいツアーとその理由を伝え合う活動に取り組む。 • リーディングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、必要な情報の読み取り方などを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	

World Tour 2	**Working Around the World**	教科書 ページ	p. 90
		配当時間	（1 時間）
		学習時期	12 月
題材	世界で活躍する人		
単元目標	人物の紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、世界で活躍する人について紹介する音声や動画の内容を聞き取る技能を身につけている。	○				
思考・判断・表現	世界で活躍する人について知るために、その人がしていることなどを紹介する音声を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	○				
主体的に学習に取り組む態度	世界で活躍する人について知るために、その人がしていることなどを紹介する音声を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 90		**世界で活躍する人を紹介している音声から、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 世界で活躍する人の紹介を聞き、聞き取った内容から、それぞれの人がしていることに関連する写真を選ぶ。 • 動画で答えや内容の詳細を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 • 学習状況に応じて、Extra の自分がこれから世界で活躍しそうだと思う人について調べて、紹介する活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○ワークシート等から、それぞれの人がしていることについてのおおまかな内容を捉えているかを見取る。	

Unit 7	**Working Together**	教科書 ページ	pp. 91-99
		配当時間	9 時間
		学習時期	1 月
題材	イベントの出し物		
単元目標 【重点化領域】	◎ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。【聞くこと（L-2)】 ◎複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合うことができる。 【話すこと（SI-2)】		
基本文	Part1 This festival is big**ger than** the Honcho Summer Festival. This festival is **the** big**gest** event of the year. Part2 A school in space is **more** exciting **than** a normal one. Teamwork is **the most** important thing. Part3 We're **as** tired **as** Kota. We're **not as** tired **as** Kota. We're trying **as** hard **as** Kota.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉-er, -est を使う比較級や最上級、more, most を使う比較級や最上級、 as 〜 as ... の文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	◎	○	○
	〈技能〉-er, -est を使う比較級や最上級、more, most を使う比較級や最上級、 as 〜 as ... などについての理解をもとに、ポスター案についての説明の内容を聞き取ったり、ポスター案についての意見を伝え合ったりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	採用するポスター案を決めるために、それぞれの案の工夫した点などについての説明を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	◎				
	採用するポスター案を決めるために、複数のポスター案を比べて、自分の意見とその理由を伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	採用するポスター案を決めるために、それぞれの案の工夫した点などについての説明を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	◎				
	採用するポスター案を決めるために、複数のポスター案を比べて、自分の意見とその理由を伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 91)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 92)	• This festival is big**ger than** the Honcho Summer Festival. • This festival is **the** big**gest** event of the year.	**本文の内容を捉え、文脈の中で-er, -est を使う比較級や最上級の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、-er, -est を使う比較級や最上級の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、-er, -est を使う比較級や最上級について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 93)		**目的や場面に沿って-er, -est を使う比較級や最上級を使う練習をする。** • クイズをしている登場人物の会話から、示された 2 つの建物のうちどちらが高いか／古いかを聞き取る。 • ペアになり、ALT に紹介したい地域のイベントや名所を、他の事物と特徴を比べながら話し合い、ALT に紹介するものを決める。 • 提案の理由やアピールポイントを整理して、紹介文を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、示された 2 つの建物のうちどちらが高いか／古いかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、-er, -est を使う比較級や最上級などを用いて、ALT に紹介したい地域のイベントや名所を、他の事物と比べながら話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、考えとその理由がわかりやすい意見の伝え方を確認するなど、Goal の「複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合う」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 94)	• A school in space is **more** exciting **than** a normal one. • Teamwork is **the most** important thing.	**本文の内容を捉え、文脈の中で more, most を使う比較級や最上級の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、more, most を使う比較級や最上級の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、more, most を使う比較級や最上級について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 95)		**目的や場面に沿って more, most を使う比較級や最上級を使う練習をする。** • アンケート調査の結果の発表を聞いて、登場人物が示しているグラフを選ぶ。 • 難しいと思う教科や人生で大切だと思うことについて、10 人にインタビューをする。 • インタビューした結果を文章で書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の発表を聞き取り、示しているグラフを選んでいるかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、more, most を使う比較級や最上級などを用いて、難しいと思う教科や人生で大切だと思うことについて、話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 96)	• We're **as** tired **as** Kota. • We're **not as** tired **as** Kota. • We're trying **as** hard **as** Kota.	**本文の内容を捉え、文脈の中で as 〜 as ... の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、as 〜 as ... の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、as 〜 as ... について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 97)		**目的や場面に沿って as 〜 as ... を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、それぞれが 2 人で見たい番組と、いっしょに見ることにした番組を聞き取る。 • ペアになり、好きな番組として選んだものを当て合うゲームをする。 • 自分が選んだ番組について、他の番組と比べながら紹介する文を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がそれぞれ見たい番組と、いっしょに見ることにした番組を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、as 〜 as ... などを用いて、好きな番組として選んだものが何かについて話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 98)		**ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉える。** • 3 人のポスター案についての説明から、おおまかな内容を聞き取る。 • Q&A などを通して、説明文の詳細や新出語句などを確かめる。 • 学習状況に応じて、Extra の 3 人それぞれが一番大切にしたことをメモするという要点を聞き取る活動に取り組む。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★おおまかな内容を捉えることができていない生徒には、紙面上の TIP に注目するよう指導する。**
9	Goal (p. 99)		**複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合う。** • グループになり、それぞれ 3 つのポスター案について自分がよいと思うものを、理由とともに伝え合う。 • 意見を整理して、グループで採用したいポスター案とその理由を発表し、伝え方を見直す。 • 学習状況に応じて、Extra の採用としなかったポスター案をよりよくするためのアイデアを提案する活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「よいと思った理由がわかりやすいように、意見を整理できているか」の観点で、やり取りの内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

Active Grammar 7	比較表現	教科書ページ	p. 100
		配当時間	1 時間
		学習時期	1 月
題材	何かを比べて説明する言い方		
単元目標	比較表現の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉比較表現の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉比較表現を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 100	• 比較級 • 最上級 • 同等比較（as ～ as …） 【復習】	**比較表現の使用場面、意味、文の形を整理し、使う練習をする。** • Unit 7 のストーリーをもとに、それぞれの比較表現の使用場面や意味を確かめる。 • 形容詞と副詞の比較級を使った文、形容詞と副詞の最上級を使った文、形容詞と副詞の同等比較を使った文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 比較表現を使う練習をする。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みなどから、それぞれの比較表現が表す意味を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で比較表現の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Unit 8	Performing a Play	教科書ページ	pp. 101-109
		配当時間	9 時間
		学習時期	2 月
題材	演劇公演		
単元目標 【重点化領域】	◎手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取ることができる。【読むこと（R-2)】 ◎意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書くことができる。【書くこと（W-2)】		
基本文	Part1　I **want** you **to help** me. Part2　That **makes** me nervous. 　　We **call** our cat Felix. Part3　It **was** well **received** by everyone. 　　It**'s made** of chocolate.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉「want＋人＋不定詞」、「make＋人・もの＋形容詞」、受け身の文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉「want＋人＋不定詞」、「make＋人・もの＋形容詞」、受け身の文などについての理解をもとに、気持ちを伝える手紙の内容を読み取ったり、自分の気持ちを伝える手紙を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	Eri の気持ちを知るために、手紙を読んで、Eri の意図や気持ちを読み取っている。		◎			
	Eri に意図や気持ちを伝えるために、Hajin になったつもりで伝えたいことを整理して、手紙の返事を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	Eri の気持ちを知るために、手紙を読んで、Eri の意図や気持ちを読み取ろうとしている。		◎			
	Eri に意図や気持ちを伝えるために、Hajin になったつもりで伝えたいことを整理して、手紙の返事を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 101)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 102)	• I **want** you **to help** me.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「want＋人＋不定詞」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「want＋人＋不定詞」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「want＋人＋不定詞」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、意図や気持ちを伝える文に注目させるようにするなど、Goal の「手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取る」活動につながる指導を行う。**
3	Part 1 活動 (p. 103)		**目的や場面に沿って「want＋人＋不定詞」を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、誰に何を頼んだかを聞き取る。 • ペアになり、クラスで出し物をするとしたら誰に何をしてもらいたいかを理由とともに伝え合う。 • 自分と友達が、誰に何をしてもらいたいかを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が誰に何を頼んだかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「want＋人＋不定詞」などを用いて、クラスで出し物をするとしたら誰に何をしてもらいたいかを理由とともに話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 104)	• That **makes** me nervous. • We **call** our cat Felix.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「make＋人・もの＋形容詞」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「make＋人・もの＋形容詞」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「make＋人・もの＋形容詞」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 105)		**目的や場面に沿って「make＋人・もの＋形容詞」を使う練習をする。** • ビデオメッセージの発話から、登場人物にとって、どんなことが該当の気持ちにさせるかを聞き取る。 • ペアになり、どんなことが該当の気持ちにさせるかを伝え合う。 • 自分が happy か excited だと感じることを伝える文章を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物にとって、どんなことが該当の気持ちにさせるかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「make＋人・もの＋形容詞」などを用いて、どんなことが該当の気持ちにさせるかについて話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、詳しい説明や具体的なエピソードがあると、読む人に気持ちが伝わりやすくなることなどを確認することで、Goal の「意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書く」活動につながる指導を行う。**
6	Part 3 本文 (p. 106)	• It **was** well **received** by everyone. • It**'s made** of chocolate.	**本文の内容を捉え、文脈の中で受け身の文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、受け身の文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、受け身の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 107)		**目的や場面に沿って受け身の文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、劇のさまざまな担当についての情報を聞き取る。 • ペアになり、知識を生かしてクイズを出し合う。 • 自分が出したクイズの問題を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、劇の担当についての情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、受け身の文などを用いて、クイズを出し合っている／出したクイズを書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 108)		**手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 手紙から、Eri が伝えようとしていた気持ちやけんかの理由についての考えなど、おおまかな内容を読み取る。 • Q&A などを通して、手紙文の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 109)		**意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書く。** • Hajin になったつもりで、手紙で伝えたいことを書き出し、下書きをする。 • 伝える内容や構成を見直し、手紙の返事を書く。 • ペアになり、Eri になったつもりで、書いた手紙を読み、どんな気持ちになったかを伝え合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「Eri の手紙をふまえて、伝えたいことを整理できているか」、「Eri に、気持ちが伝わる内容になっているか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Active Grammar 8	受け身の文	教科書ページ	p. 110
		配当時間	1 時間
		学習時期	2 月
題材	何かをされていると説明する言い方		
単元目標	受け身の文の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉受け身の文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉受け身の文を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 110	受け身の文 【復習】	**受け身の文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 8 のストーリーをもとに、受け身の文の使用場面や意味を確かめる。 • 受け身の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。また、巻末付録「不規則動詞活用表」（pp.152-153）で、いろいろな動詞の過去分詞を確認する。 • 普通の文と受け身の文とを比べて、違いを考える。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 受け身の文を使う練習をする。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みなどから、受け身の文の意味や働きを理解し、使えているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で受け身の文の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

World Tour 3	**New Seven Wonders of the World**	教科書ページ	p. 111
		配当時間	（1 時間）
		学習時期	2 月
題材	新・世界七不思議		
単元目標	世界の遺跡などの紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、世界のワンダーについての説明を聞き取る技能を身につけている。	○				
思考・判断・表現	世界のワンダーについて知るために、その特徴などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	○				
主体的に学習に取り組む態度	世界のワンダーについて知るために、その特徴などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 111		**自分の国のワンダーを紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 1 つ目の動画を見て、3 人のリポーターがどのワンダーの説明をしているのかを捉える。 • 2 つ目の動画で答えや内容の詳細を確かめた後、もう一度両方の動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 • 学習状況に応じて、Extra の自分ならどんなワンダーを紹介するかを考える活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○ワークシート等から、3 人のリポーターが紹介している場所についてのおおまかな内容を捉えているかを見取る。	

Let's Read 3	**Emojis – From Japan to the World**	教科書ページ	pp. 112-115
		配当時間	4 時間
		学習時期	3 月
題材	絵文字		
単元目標【重点化領域】	◎説明文を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域 L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉接続詞 so、because など因果関係を示す語句、受け身の文の意味や働きなどを理解している。	○	◎			
	〈技能〉接続詞 so、because など因果関係を示す語句、受け身の文の意味や働きなどの理解をもとに、絵文字についての説明文の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	絵文字の世界での広まり方や使われ方などを知るために、説明文を読み、おおまかな内容を捉えている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	絵文字の世界での広まり方や使われ方などを知るために、説明文を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 112-115		**絵文字について知っていることをもとに、説明文の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 絵文字がどのくらい世界で広まっているかなどについて話し合い、本文の内容を予想する（Before You Read）。 **説明文全体を通して聞いたり読んだりして、おおまかな内容を捉える。** • 説明文全体を通して聞き、本文の概要をイメージする。 • 説明文全体を通して読み、概要や構成を捉える。	○Before You Read への回答の様子から、世界での絵文字の広がり方や使われ方を予想しているかを見取る。 ○生徒の発話などから、説明文のおおまかな内容を捉えているかを見取る。	
2	pp. 112-113		**日本の絵文字が世界に広まった経緯とその理由を読み取る。** • 第 1、2 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、日本の絵文字が世界に広まった経緯とその理由を読み取る。 • 第 1, 2 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、説明文のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
3	pp. 113-114		**国による絵文字の使い方の違いや、他国で新たに生まれた絵文字について読み取る。** • 第 3〜6 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、国による絵文字の使い方の違いや、他国で新たに生まれた絵文字について読み取る。 • 第 3〜6 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、説明文のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
4	pp. 114-115		**筆者の考えを読み取る。** • 第 7 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、筆者の考えを読み取る。 • 第 7 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **本文の要約を完成させる。** • 教科書の空欄に適する語句を入れて本文の要約を完成させ、概要を確かめたり、筆者が特に伝えたいことを考えたりする（After You Read）。 • 学習状況に応じて、Extra のグループになり、示された 2 つのどちらかの話題を選んで、考えを伝え合う活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎After You Read への回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★TIP（p. 115）、巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 144（［英語をよりよく使うための TIPS］内の『聞いたり読んだりするときのコツ』4. おおまかな内容を捉える読み方）を参考にしながら、おおまかな内容を捉える読み方を確認する。**

You Can Do It! 3	**かるたで地域の PR をしよう**	教科書ページ	pp.116-117
		配当時間	2 時間
		学習時期	3 月
題材	地域の名所や名産品		
単元目標 【重点化領域】	◎説明や描写をすることができる。【聞くこと（L-2)】【話すこと（SI-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	◎		◎		
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、郷土かるたの札の内容を聞き取ったり、地域の魅力が伝わると思う名所や名産品について意見を伝え合ったりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	かるたの内容を考えるときの参考にするため、各地域の郷土かるたの札の説明を聞き、おおまかな内容を捉えている。	◎				
	地域の PR をするために、かるたにして紹介したいものについて、意見やその理由などを整理して伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	かるたの内容を考えるときの参考にするため、各地域のかるたの札の説明を聞き、おおまかな内容を捉えようとしている。	◎				
	地域の PR をするために、かるたにして紹介したいものについて、意見やその理由などを整理して伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 116		**郷土かるたの札の説明を聞き、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 郷土かるたで遊んでいる 2 人のやり取りを聞いて、札が読まれた順番を捉えたり、絵札がどのように説明されているかを確かめたりする。 • かるたについてのやり取りの詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	
2	p. 117		**自分たちの地域の魅力を伝える名所や名産品について話し合い、かるた札に取り挙げたいものを選ぶ。** • かるたにして紹介したいものをできるだけ多く挙げ、かるた札の候補を考える。 • 候補に挙がったもののうち、自分たちの地域の魅力が外国の人たちに伝わると思うものを理由とともに伝え合い、グループで 2 つ選ぶ。 • 学習状況に応じて、Extra の選ばれた案で、読み札と絵札を作る活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Speaking モデル」を参照したり、Look Back にある既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

Let's Read More 1	Plastic Food Samples	教科書ページ	pp. 118-119
		配当時間	(2 時間)
		学習時期	3 月
題材	食品サンプル		
単元目標	記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと (R-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。		○			
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、食品サンプルについての記事の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	食品サンプルがどこで生まれ、どのように作られているかなどを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	食品サンプルがどこで生まれ、どのように作られているかなどを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 118-119		**記事全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。** • 食品サンプルについて知っていることや写真を参考に本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 **食品サンプルの歴史や変化を読み取る。** • 第 1、2 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめながら、食品サンプルの歴史や変化を読み取る。 • 第 1、2 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q&A などへの回答 (ワークシート等) から、記事のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
2			**食品サンプル職人の新しい試みなどについて読み取る。** • 第 3、4 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめながら、食品サンプルの職人の新しい試みなどについて読み取る。 • 第 3、4 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **設問の答えを確かめ、食品サンプルについて話し合う。** • After You Read の設問の答えを確かめる。 • 学習状況に応じて、Extra のどんな瞬間を切り取った食品サンプルがあったらいいと思うかを話し合う活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○Q&A や After You Read などへの回答（ワークシート等）から、記事のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	

Let's Read More 2	Ainu, My Voice	教科書ページ	pp. 120-121
		配当時間	（2 時間）
		学習時期	3 月
題材	アイヌ文化		
単元目標	映像作品を紹介したブログを読んで、おおまかな内容を捉えることができる。 【読むこと（R-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、映像作品を紹介したブログの内容を読み取る技能を身につけている。		○			
思考・判断・表現	Tina が紹介している作品の内容を知るために、ブログを読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	Tina が紹介している作品の内容を知るために、ブログを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 120-121		**ブログ全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。** • アイヌ文化について知っていることや写真を参考に本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 **アイヌの歴史と、主人公の女性がアイヌ語の歌でアイヌ文化を広めるに至るまでの出来事を読み取る。** • p. 120 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめながら、アイヌ文化の歴史や主人公の女性にあった出来事を読み取る。 • p. 120 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q&A などへの回答（ワークシート等）から、ブログのおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
2	p. 121		**主人公のアイヌの女性の心情と、Tina の感想を読み取る。** • p. 121 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめながら、アイヌ文化の歴史や変化を読み取る。 • p. 121 の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **設問の答えを確かめ、Tina が伝えたいと思ったことなどを想像する。** • After You Read の設問の答えを確かめる。 • 学習状況に応じて、Extra の Tina がこの作品について伝えたいと思ったことや、特に心に残った場面を想像し、それを表していると思う文に線を引く活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○Q&A や After You Read などへの回答（ワークシート等）から、ブログのおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	

Story Retelling		教科書ページ	pp.122-129
		配当時間	帯活動の時間
		学習時期	通年
題材	ストーリー		
単元目標 【重点化領域】	◎ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話すことができる。【話すこと（SP-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、ストーリーの登場人物や出来事について話す技能を身につけている。				◎	
思考・判断・表現	ストーリーの内容を伝えるために、情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	ストーリーの内容を伝えるために、情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域（帯教材を学期末のパフォーマンステスト等に活用する場合）

〈帯活動の時間を 10 分程度割り当てて、Unit 1 のストーリーをリテリングする場合の例〉

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
帯	pp. 122-129		**ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話す。** • 活動の目標と自己目標を確かめる。 • Unit 1 のストーリーの音声を聞くなどして、内容を思い出す。 • p. 122 の絵を見ながら、リテリングのしかたを考える。(1 分間) • ペアになり、ストーリーの内容を相手に説明する。 • 振り返りの時間の後、もう一度リテリングに取り組む。 • 学習状況に応じて、話したことをノートに書く。(3 分間)	**◎話している様子から、ストーリーの内容を理解し、伝えたい情報を整理して、相手に伝わる表現・語句を用いて説明しているかを見取る。**	**★リテリングの仕方がわからない生徒には、二次元コードからモデル動画を参照するよう促し、話す内容や話し方のイメージを持たせる。** **★説明しづらそうな場面については、これまでに学習した本文などから使える表現を探すよう促す。**

Let's Talk!		教科書ページ	とじ込み pp. ①-⑧
		配当時間	帯活動の時間
		学習時期	通年
題材	自分や相手のこと		
単元目標【重点化領域】	◎自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。【話すこと（SI-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことや興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。			◎		
思考・判断・表現	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域（帯教材を学期末のパフォーマンステスト等に活用する場合）

〈帯活動の時間を 5〜10 分程度割り当てて、1 分間自由にやり取りする場合の例〉

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
帯	とじ込み pp . ①-⑧		**自分や相手のことについて、その場でやり取りする。** • 活動の目標や自己目標、活動の目的を確かめる。 • その時間に扱うテーマや話題を指定し、教師が Small Talk を行う。 • ペアになり、生徒同士がやり取りをする。 • 振り返りの時間の後、もう一度やり取りに取り組む。 • 学習状況に応じて、やり取りしたことをノートに書く。（3 分間）	**◎やり取りの様子から、相手に伝わる表現・語句を用いて、自分のことを伝えたり質問したりしているかを見取る。**	**★実態に応じて、やり取りの前に、1 人で話す（発表形式で話す）。** **★帯教材「Let's Talk!」の「ステップアップのしかた」（とじこみ⑧）に応じた段階を設けて、トピックについて話すことに慣れさせる。** **★やり取りの仕方がわからない生徒には、二次元コードからモデル動画を参照するよう促し、話す内容ややり取りの続け方を確かめさせる。**